山都町図書館だより

声の灯り 228 号

図書館ボランティアピエロの会の花植えがありました

本館前の花壇に、色とりどりの元気な花々が咲いています。
ピエロの会のみなさん、いつもありがとうございます！

本館休館のお知らせ

令和８年９月５日（土）・９月６日（日）は、八朔祭通行規制により休館いたします。清和分館・蘇陽分館は開館いたします。本の返却は返却ボックスをご利用ください。CD・DVD はカウンターへお持ちください。

熊本県立図書館サービス利用について

山都町立図書館では、以下の熊本県立図書館のサービスを利用することができます。

- **インターネット予約貸し出しサービス（受取・返却）**
- **熊本県立図書館で貸し出しした本の返却（矢部本館のみ受付）**

返却する本は、必ず図書館カウンターへお持ちください。
返却時に「遠隔地返却受付票」へご記入ください。レシートを貼付しても構いません。

- **お問い合わせ**

熊本県立図書館：〒 862-8612 熊本市中央区出水 2丁目 5 番 1 号
電話　096-384-5000　FAX　096-385-2983
ホームページ URL：https://www2.library.pref.kumamoto.jp

おはなし会のお知らせ

「ピエロの会のおはなし会」
日時：9 月 12 日（土）午前 10 時 30 分から
場所：本館（矢部）
※ 30 分くらいのおはなし会です。

「0 ～ 3 歳児向け　おひざにだっこのおはなし会」
日時：9 月 19 日（土）午前 10 時 30 分から
場所：本館（矢部）
※ 0 歳から 3 歳くらいのお子さん向けです。

今月のレファレンス　－こぎゃんこつが知りたかばってん、どの本に載っとっと？－

※レファレンスとは、調べたいことや資料などのご質問について、必要な資料・情報を集めてご案内するサービスです。お問い合わせの内容によって、資料をそろえるまで時間がかかる場合があります。（郷土史など）予めご了承ください。事前にご連絡を頂くと、スムーズにご案内できます。
ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

問合　本館　☎ 73-1616　　清和　☎ 82-3033　　蘇陽　☎ 73-2755
開館日：火曜日から金曜日（午前 10 時から午後 6 時）土・日曜日（午前 10 時から午後 5 時）
休館日：月曜日・祝日・月末日・年末年始

★山都町立図書館のホームページにアクセスすると、最新の情報が確認できます。
「かんたん検索」で、図書館にある本が探せます！
※貸出しできない資料もあります。

やまとちょうりつとしょかん　検索
かんたん検索はこちら

山都町シニアクラブ連合会 会長・女性部研修会を開催しました

6 月 29 日、熊本県シニアクラブ連合会事務局長の伊津野裕昭氏をお招きして研修会を開催しました。

この研修会では、シニアクラブの運営の基本ポイントを学ぶとともに、「あなたのクラブでは、若手高齢者の関心に応える活動を行っていますか？」をテーマにしたグループワークを実施しました。参加者 51 人が 7 班に分かれてグループトークを行い、健康づくり、社会奉仕、料理講習、サロン活動、花見や親善旅行といった、若手会員の満足につながる多彩な活動を通じて会員増を目指す取り組みについて発表しました。

参加者は各班のアイデアを持ち帰ることで、自クラブの活動活性化につなげる良い機会となりました。また、地域のシニアクラブ活動をより盛り上げていくための大きな一歩となりました。

問合　健康福祉課　☎ 72-1229　　山都シニアクラブ連合会事務局　☎ 72-1722（事務局　木野）

短歌・俳句

季節のうた

やまなみの会「山脈」

豪快に串刺しのまま山女魚食う　原田　和子
山々に万緑の気をいただきぬ　草樹　萌
曾孫がバーバと叫んで駆けてくる　手にしっかりと四葉のクローバ　山下　弘子
人の世の闇を照らして沈みゆく　下弦の月は今山の端に　古閑　比奈子
足元に善きと期待して　柔き感覚高値靴買う　藤本　千代美
我の背に寄り添う様に子は歩く　旅で気づきし子の優しさを　井上　紀子
思い出は高く泳ぐや鯉のぼり　二十年前初孫の顔　山下　明美
子にとりて母なき里は故郷ならず　訪う足も遠くもなりぬ　梅林　義秋
朝夕の涼しさ感じまどろみて　眠気ふたたび二度寝あやうし　後藤　翔太
ラウンジで夜の帳が降りる頃　君と語りし互いの人生　水町　翔

通潤閣法句会

海峡を渡れぬままに梅雨に入る　菊池　成河
挿し芽してバラは満開色香良し　井上　紀子
梅雨晴れ間猫なでて行く配達夫　菅　清次郎
梅雨寒も相合傘なら知らぬふり　中村　武徳
減反の棚田彩る花菖蒲　西田　えい子
一声に光纏へる三光鳥　藤吉　由美子
運動会スマホで届くプログラム　光永　忠夫

清和短歌会

山笠駆けるオイサオイサと山笠駆ける男息吹が漲ぎる博多　梶原　のり子
夕暮れに畑を走る鹿の群れ農の行く末不安を感ず　坂本　英博
カエル蝉夏の競演耳塞ぎ初夏の空に吸い込まれて行く　米田　講生